令和３（2021）年１月市長臨時記者会見の概要と質疑応答

令和３（2021）年１月 21 日（木曜日）
午後５時～5 時 24 分
柏崎市役所多目的室

1　発表事項

市内での新型コロナウイルス感染症患者（市内 39、40 例目）の発生について

（主管：防災・原子力課）

1 月 20 日に、市内で新型コロナウイルス感染症患者が新たに２名確認されました。

市内 39 例目は、柏崎市居住の 50 歳代で柏崎市立学校教員の男性です。

市内 40 例目は、柏崎市居住の 50 歳代で無職の女性です。

どちらも、市内 38 例目の濃厚接触者として１月 9 日に PCR 検査を受け、陰性でした。その後、保健所や県の指導で自宅にて健康観察していました。

50 歳代男性は、1 月 13 日に咳と発熱があり、19 日に症状が治まりましたが、19 日に検体を採取して 20 日に陽性が判明しました。現在は無症状です。

50 歳代女性は、1 月 15 日に咳と発熱があり、19 日に検体を採取して 20 日に陽性が判明しました。現在は無症状です。

濃厚接触者は柏崎保健所が調査中ですが、市としては、自宅にて健康観察中であったということや、本人への聞き取りなどから濃厚接触者はいないと思っています。

市立学校の教員ですので、当該校の保護者にはすでにその旨を連絡しました。また、当該校以外の市立小中学校の保護者にも、市立学校の教員が陽性となったことをお知らせしました。

2　質疑応答

記者：38 例目の方は 80 歳代の女性だったと思うが、この方の濃厚接触者ということか。

市長：はい。

記者：39 例目の方が勤務している学校に最後に行ったのはいつか。

学校教育課長：1 月 4 日です。その後は課外活動の指導で、学校ではありませんが、勤務はしていました。

記者：学校を消毒するなどの対応が必要な状況か。

学校教育課長：保健所から、その必要はないという助言がありました。

記者：39 例目と 40 例目は夫婦なのか。

市長：同居はしていますが、夫婦かどうかはお答えできません。

記者：38 例目の 80 歳代女性とは同居しているか。

市長：同居はしています。

記者：39 例目と 40 例目は夫婦だと断言できないが、同居はしているということでよいか。

市長：はい。兄弟姉妹ということもあり得ますし、プライバシーに関することなので申し上げられないということです。

記者：38 例目の行動歴を伺いたい。

市長：行動歴は、私は細かく承知していません。39 例目、40 例目のご家族が年末に柏崎に帰省されたことは承知しています。

記者：年末に帰省された方はどうだったのか。

市長：現住所に戻ったのち、一人に症状が出て、陽性が判明しました。この知らせを受けてPCR検査を行い、38例目の80歳代女性の陽性が判明し、50歳代男性と50歳代女性は陰性でした。

記者：39例目の方は、1月4日が最終勤務で、そのあと課外活動の指導があったということだが、最後にお子さんと接したのはいつなのか。

学校教育課長：1月6日です。

記者：今回の陽性判明によって、休校措置やお子さんへのPCR検査は行わないということでよいか。

市長：前回の学校における事例と異なり、1月9日以降は自宅で健康観察を続けていて、外部との接触もありませんので、臨時休校などの措置はとりません。

記者：この件で学校生活への特別な影響はないということか。

市長：心理的な部分以外でマイナスの影響などはないと承知しています。

記者：帰省した親族のPCR検査結果が判明した日の情報はあるか。

学校教育課長：1月7日です。

記者：39例目と40例目の方は、38例目の濃厚接触者としてPCR検査を受けたのか。それとも1月7日に県外で陽性が確認された親族の濃厚接触者として、違う都道府県から要請を受けてPCR検査を受けたのか。

市長：私どもは市内38例目、県は県内の事例626例目の濃厚接触者として発表しています。どちらが感染元かは分かりません。

記者：市内6例目から10例目までの時は、おそらく富山県射水市が由来だろうと記者会見で主張されていたと思う。今回は地域名も出していないし、感染拡大地域か否かの情報も出していないが、どうような配慮なのか。

市長：市内6例目から10例目までの時は、先方からそのように発表があったので、私どもも合わせて対応させていただきました。今回は1月7日に陽性が判明した自治体から発表があったということではなく、あくまでもご家族の連絡を受けて、私どもが調査をして検査を受けていただいたということです。感染拡大地域か否かは、感染拡大地域であろうと承知しています。

市長：市立学校に関係するところで、保護者の方やお子さんに不安を与えたことを大変申し訳なく思っています。